



森のなかま

2013年3月号

NO.59 (継続204号)

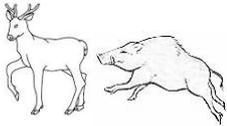
NPO法人かながわ森林インストラクターの会

<http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館

TEL046-280-4101・FAX046-280-4102



『豊かな森と共に生きる』～猟師から見た森の変化～

第4回森林文化講演会

講師: 杉本 一 氏



恒例となった森林文化講演会は、4回目を迎え、平成25年2月17日に桜美林大学PFC(プラネット淵野辺キャンパス)P201教室で開催されました。講師の杉本一氏が現役の猟師であることに関心が高かったようで124名の方に参加を頂きました。神奈川新聞社の取材もあり、2月19日に掲載されました。

杉本氏は(公社)国土緑化推進機構の23年度「森の名手・名人」の「森の恵み」部門に選ばれた名人。その時の推薦人が交流のあった我が会だったご縁で講師をお願い致しました。

準備段階で、杉本氏のお宅を3回(24年4月、12月、25年1月)訪問。お会いする度に、打合せというより本番さながらの貴重な体験を熱く話されるので、一人でも多くの方に是非聞いて頂きたいと、開催をPR、機会あるごとにチラシを配布し、参加の呼びかけを各方面にお願いしました。

皆さん話しに引き込まれました

杉本 氏



当日、会場は満席状態の中で、小柄な杉本氏が大きな存在感で参加者の心を掴んでいく様子が何とも小気味がよかったです。前半は「狩猟の話」、後半は「森づくりの話」。一流の猟師になるために動物の生態を熱心に研究し技を磨いた自信と誇り、森で生きる情熱がひしひしと伝わってきました。地域で管理する山の再生についても、動物の棲める山、収益を上げられる山づくりをすれば、災害防止や水源の水にも良いはずと環境と経済の好循環を目指して実践されている様子をわかりやすく話されました。話に引き込まれて時間が短く感じられました。参加者のアンケートにも「もっと聞きたかった」「もう一度講師に」「テーマを決めてシリーズで聞きたい」などの感想、「期待以上だった」と特筆も複数ありました。

この講演会に後援をいただいた神奈川県、相模原市、神奈川県森林協会、(公財)かながわトラストみどり財団、(公財)相模原市みどりの協会、会場を提供していただいた桜美林大学、また杉本氏と親交のある3期清水正巳氏、6期武川俊二氏、他多くの方のお力添えを頂いたことに深く感謝致します。

(記：森林文化部会 9期 内野 ミドリ)



ミツバチ養蜂箱を襲ったクマを生け捕り



スギノアカネトラカミキリの被害を受けた樹幹断面、右の木は正常

杉本 一 氏 プロフィール

- ・狩猟家、平成23年度国土緑化推進機構認定「森の名手・名人」
- ・神奈川県山北町在住。 幼少の頃から森に親しみ、動物の生態に興味を持ち猟師に。 プロの猟師として狩猟技術の修練のみならず、動物の棲める森づくりの重要性、自立できる産業としての狩猟や地域づくりのため、幅広い活動をされています。

後援：神奈川県、相模原市、神奈川県森林協会 (支援)

公益財団法人 かながわトラストみどり財団

公益財団法人 相模原市みどりの協会

協力：桜美林大学